元気かわら版

Syakyo

庄原市社協だより１・２月新春合併号【vol.189】













明けましておめでとうございます。

繋がりを大切にし、楽しい1年にしていきましょう！

Facebook を始めました！https://www.facebook.com/shobara.shakyo/

令和三年

新年の御挨拶

この地域で最期まで安心して暮らせるために！

～令和三年のスタートにあたって～



庄原市社会福祉協議会
会長
山内　文雄

明けましておめでとうございます。

コロナ禍で迎えた新年ですが、一日も早く終息し、市内各地域に元気が戻ることを願うものです。

今私たちは、この住み慣れた地域で最期まで安心して暮らせるまちづくりをめざしています。

医療ではかかりつけ医、訪問診療といった地域にいながら受けられる「在宅医療」が、介護では訪問介護、通所介護などの「在宅介護」が必要となります。そして「在宅看取り」もこれから増えてくるでしょう。

このように、これからの医療や介護のしくみは「施設から在宅へ」と大きく変わっていきます。人口減少など厳しい庄原市の現状の中で、どうすれば地域や家族で高齢者の生活を支えることが出来るでしょうか。

私たちがこれから年老いて支援が必要になった時、地域や家族で支えてもらうことができるでしょうか。医師や看護師の確保など、在宅生活を支える地域の医療体制の整備等は行政に頼らざるをえません。

そして、私たちにできることは「自分の健康は自分で守る」「地域や家族で見守り、支え合う」といった自助努力と互助の仕組み作りです。

そのためには、平素から地域や家族との絆を深め、心を開いてもっと社会とつながることがとても大切です。

私たち庄原市社会福祉協議会は、このような思いで自治振興区をはじめとする地域団体の皆さんと一緒になって、地域の力、家族の力を強くする取り組みを行っています。

今コロナ禍で、都市部の密集地と違う「人がつながり、お互いの顔が見える田舎の良さ」「里山暮らしの良さ」が見直されています。

新年も市民の皆さんと共に、庄原の「魅力ある里山」づくりをめざし、「住み慣れたこの地域で最期まで安心して暮らせる地域づくり」に取り組んでいきたいと思います

できることを考え実行する

令和二年は多くの方々にとって辛い年でした。

無論、私たちも様々な場面で苦しんでおりましたが、多くの支援やご協力をいただけた年でもありました。

新しい年を迎え、「コロナだからできん」「コロナだからせん」ではなく、「自分なら何ができるんじゃろ？」「だったらやろうや！」と、今だからできることを考え実行する。

未来を信じ、バタバタしないで着実に歩んでいきます。



事務局長
小瀧　一樹

地域に安心を感じる居場所づくり

コロナ感染拡大による生活様式の変化、各種イベント行事の中止など・・令和二年は我慢の年でした。

都会は過密、田舎は過疎。今、その田舎が見直されています。

空き家が増え、子どもたちは少なくなりましたが、ここで暮らす私たちには、地域（人と人）のつながり「田舎の良さ・強み」があります。

「暮らしに安心を感じる場」「一緒にお茶が楽しめる場」「笑える場」「ともに働く場」「支え合う場」

今年も、一緒にもっともっと暮らしに笑顔と安心が広がる一年にしていきましょう。



企画主幹
岡野　茂

総務課　「見える社協・身近な社協」をめざして

総務課　課長　津秋　淳司

「社協って何をしているところ?」と度々問われることがあります。

これは「**いつまでも、元気で安心して暮らせる地域づくり**」を活動理念として業務を進める社協にとっては、大きな課題です。

新年は、よりわかりやすい広報誌の作成やホームページの充実、ＳＮＳでの細かな情報発信を重点的に実施します。

タイムリーに庄原市社協の活動をお伝えしていきますのでご期待ください。地域住民の皆さんに「**見える社協・身近な社協**」と言っていただける庄原市社協をめざします。

また皆様から頂戴した寄付・会費・募金などのご好意を事業の中で大切に活用させていただきます。引き続きの支援をよろしくお願いいたします。



地域共生推進課　あふれる笑顔 この地域（まち）に～笑顔がつながる 福祉のまちづくり～

地域共生推進課　課長　藤野　明美
主幹　奥田　久美子
次長　大前　和晴
次長　高橋　浩二

昨年は、新型コロナウイルス感染症の流行により、事業の延期や中止など、たくさんご迷惑をおかけしました。新しい生活様式に戸惑いながらも〝皆で集まることの大切さ〟を改めて実感した一年でもありました。多くの皆様のご協力を得て、何とか事業を進めることができ、感謝申し上げます。

地域共生推進課では、「**自分の健康は自分で守る**」「**地域や家族で見守り、支え合う**」自助と互助の仕組み作りを推進します。また、「子ども」「子育て世代」「青壮年」「高齢者」「障がい者」などを一体的に考え、各サービスの連携を取りながら支援を続けていきます。

相談事や要望を解決につなげるために、行政をはじめとした関係機関との連携も、これまで以上に強化し、地域の課題を地域の皆様と共に取り組む地域共生社会の実現を目指して職員一同取り組んでいきます。

そして、〝コロナ禍の今でもできること〟を模索し、地域の皆さまと共に考え、庄原市社協の基本理念である「そうだん」「あんしん」「よろこび」を念頭に置き、各事業を推進するうえで職員一人ひとりが「人と人」「人と地域」「地域と地域」「地域と社会資源」を繋ぐ接着剤のような役割を担いたいと思います。

新年もどうぞよろしくお願いいたします。



庄原・総領地域センター　コミュニケーションを大切に

南部地域事務所　所長　二上　明

庄原地域センターと総領地域センターは、担当地域が広く人口も多い地域です。

皆さんと出会う機会がコロナ禍によって失われ、私たちも寂しい一年となってしまいました。

今年は少しでもそれを補えるよう、地域の皆さんと、心を密にしてコミュニケーションを大切にしていきます！

感染予防に配慮しながら各地域を訪問いたします。



口和地域センター　課題を笑題（わだい）に変える地域づくり

南部地域事務所　次長　須安　登茂美

立ち止まることが多かった令和二年。集まることの意味、心のつながりの大切さを改めて考えさせられました。

現状と向きあいながらも、皆さんが「笑顔で元気」の暮らしを応援するために、地域の皆さんの声を聞き、話し合い、一緒に考え、課題が笑題に変わるようできる事から取り組んでいきたいと思います。



東城地域センター　こんな時だからこそ支えあおう

東部地域事務所　所長　咽原　康平

コロナ禍で気づいたのは、人とふれあうことの尊さと普段の生活を送ることのできる喜びでした。昨年、私たちの生活習慣は大きく変わりましたが、日々の暮らしはこれからも続いていきます。

だからこそ「**みんなで集い**」「**みんなで楽しみ**」、そして「**笑顔あふれる東城**」を地域の皆さんと一緒に作っていきましょう。



西城地域センター　密な連携で地域課題を共有

東部地域事務所　次長　藤尾　正彦

未だコロナ禍で、感染予防に取り組まなければならない状況が続いています。このような中でも、引き続き医療・保健・福祉の連携でわが家の生活と小地域の福祉活動を応援していきます。

そして、生活の困りごとや不安などの地域課題を住民・関係者・庄原市社協が共有する場面をより多く作り、西城地域が一丸となって解決に取り組んでいきます。



高野地域センター　元気で賑やかなふれあいを大切に

北部地域事務所　所長　三川　みゆき

高野地域センターは、職員数が56名の一番大所帯の地域センターです。今年も、楽しく元気に皆さんと一緒に高野の元気を作っていきます！

住み慣れた高野で、いつまでも安心して暮らし続けられるよう、生活の中の困りごとや相談したいことが、何でも気軽に話ができる地域の窓口を心がけて、元気に笑顔で頑張ります。



比和地域センター　笑顔あふれる一年に

北部地域事務所　次長　森末　由美子

全ての皆さんの〝元気で、明るく、楽しく〟を応援します!!「コロナだから出来ない」ではなく、感染予防に取り組みながら、人とのつながりの大切さが実感できるよう、そして比和全体が一つの家族のように「ふれあい」「支え合い」そして「生きがい」が持てる地域づくりを、皆さんと一緒に考え進めていきます。



居宅介護支援事業　幸せにつながる支援を継続

コロナ禍で介護保険等の制度も頻繁に改正されています。私たちを取り巻く状況は日々急速に変化し続けています。

変化に対応しつつ、私たちはこれまで通り利用者様やご家族の幸せにつながる支援を新年も続けていきます。ヘルパーの利用やデイサービス・ショートステイのことなど、何でもご相談ください！



通所介護事業　笑顔輝く〝デイサービス〟に

昨年は、コロナ禍でこれまでのデイサービスのスタイルも変化しました。いつも皆さんが楽しみにされている行事も縮小、中止となる中で、感染防止対策に努めながらの運営となりました。

新年も「**健康長寿**！」をめざして、元気に、楽しく、**ひとり一人の笑顔輝くデイサービス**になるよう頑張ります。



訪問介護事業　前向きな気持ちの応援団に

訪問介護サービスは、自立を促しつつ、利用者様の体調に合わせた食事や入浴の介助など、在宅での生活に必要なお手伝いをさせていただいています。

「ヘルパーを利用し、元気になった!!」

「まだまだ家で暮らせるぞ！」

と前向きになっていただけるサービスを提供します。



訪問入浴介護事業　わが家での生活の一助に

自宅の浴槽で入浴が難しくなった方のために、特殊な浴槽を用いて看護職1名・介護職2名で入浴介助を行います。

主治医の指示に基づいて、入浴前後の体調管理も、しっかりと行います。自宅でゆったりとお風呂に入って心身のリフレッシュをしませんか？

住み慣れたわが家で暮らし続ける一助になればと思います。



福祉用具貸与事業　わが家で暮らすために

住み慣れたわが家で、安心して生活・介護できる環境づくりをお手伝いします。ベッドや手すり、車椅子、シニアカーなどの貸し出しを行っています。

皆さんの想いに応えられるよう、ひとつずつ何度でも、使いやすい福祉用具をご提供できるよう職員一丸となって頑張ります。

お気軽にご相談ください。



共同作業所ゆめのいえ　地域の皆さんとのふれあいを楽しみに

比和にある「ゆめのいえ」は、障がいがあっても、「地域で、自分らしく、楽しく」暮らし続けるための共同作業所です。

新年も通所者の皆さんに寄り添いながら、職員一同、力を合わせて頑張ります。

毎週月・金曜日、地域のつどいの場『ゆめカフェテリア』で、お待ちしてます!!





～小さな活動を大きく育む～

協議体の取組

山内おたがいさまネット会議
（山内自治振興区協議体）



14自治会にある「おたがいさまネット」を活用して、もっと地域のつながりを！と、山内おたがいさまネット会議は始まりました。

「**ひとり暮らし高齢者等の見守り**」と「災害時の避難支援」を柱に、隣近所、身の回りへの「日々の気のかけあい」を大切に、安心で住みよい地域の実現を目指します。

地域づくりは顔を合わせることから。山内の困り事を話しあおう!

協議体　地域で暮らし続けるために
みんなの困りごとや地域の課題
を解決につなげる話し合いの場

（山内自治振興区協議体）

山内おたがいさまネット会議

みんなで情報を共有し
「今取り組むべきことは何か？」
「すぐにできることはないか？」
と考え、山内流のまちづくりを将来に備えて話し合っています。

「まずは地域に対する思いや困り事を知ることから始めよう！」と〝山内地域生活実態アンケート〟を実施。アンケートの結果、「いつまで運転ができるだろう」「免許を返納したら山内で生活ができるか心配」と、不安を感じている方が多いことがわかりました。

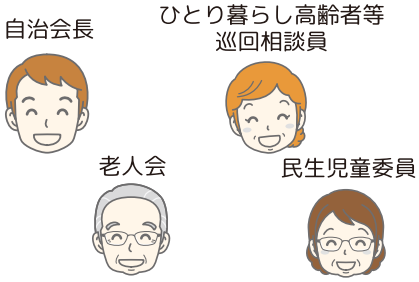
交通検討会議

皆さんの交通に対する不安を払拭するため話し合う場を持とうと、山内にある（社福）相扶の郷との連携、地域資源を生かした交通体系とは何かを考えていくことになりました。

令和2年には、庄原市市民タクシー運行事業を導入。今後も、山内の実情に即した生活交通方式の検討を進めていきます。

情報共有

山内おたがいさまネット
（全１４自治会に設置）



自治会ごとに地域のことをよく知るメンバーが顔を合わせ、関係者会議を開催。それぞれがキャッチした気づきや、情報を話し合っています！

- 新たに見守りが必要な方がいないか？
- 困りごとを聞いていないか？
- 緊急連絡票の設置、更新は出来ているか？
- 災害時の避難支援体制の再確認

話し合いの中で解決が難しい課題は、山内おたがいさまネット会議へ相談。解決方法をみんなで考えます。

困りごとの早期発見には、自治会ごとに話し合いの場をもつことが何よりも大切です。
自治会の困りごとは山内みんなの困りごと。
山内のみんなが自分事として何が出来るのか考え、解決に向けた、自主的な活動につなげていきます。



地域マネージャー　三上智道さん

サロンの取組

山内自治振興区
サロン水越
（水越自治会）

サロン　暮らしに近い支えあいの場

サロンができて３か月！
地域の元気がアップ♪

年々過疎化と高齢化が進み、これらの地域の現状に何か対策をとらねばと考えていた自治会長の三上さん。

山内おたがいさまネット会議で聞いた「**孤立を防ぐサロン**」、「**山内にはシルバーリハビリ体操の指導士が多い**」との話を思い出し、

「**自治会にシルバーリハビリ体操を中心としたサロンを立ち上げよう！**」

と、早速自治振興区へ相談に行きました。

庄原市社協もお手伝いさせていただき、昨年7月に「サロン水越」が発足しました。



・空き家も増えてきたし、孤独を感じる人も増えてくるだろうなぁ
・足腰が弱ったとよく聞くようになったなぁ
・シルバーリハビリ体操を習いたいという声もあるしなぁ

自治会にシルバーリハビリ体操を中心としたサロンを立ち上げよう！



自治会長　三上さん

『お裾分けをどうぞ』
『お福分けを、
ありがとう』



「娘が集めとるプロ野球チップス持ってきたよ♪」みんな興味津々です。

介護予防、
認知症予防、
閉じこもり防止！



水越に運動出来る場ができて、とても嬉しい♪

それぞれの出来ることを無理なく助け合う♪



ここはわしに任せんさい！
男手があると助かります！

顔なじみの関係から
気に掛け合う関係へ♪



「○○さんは？」
「今日は軽トラがあったけー帰りによろうよ。心配じゃけぇの」



自治会長
三上　慎二さん

顔を合わせ気軽に話すようになったからか、皆さんの雰囲気が明るくなったように思います。

「この人はこんなによく喋る人だったんだなぁ」とか、「お世話好き」「情報通」「和やかに過ごせる温かい雰囲気づくりができる人」「相談役」「盛り上げ役」など、それぞれの新たな一面を見つけるたび、サロンを立ち上げて良かったと感じます。



地域福祉
コーディネーター
稲里　美鈴

小地域サロンの説明を色々な所で行ないますが、「また、何かしないといけないのか」「地域で目立ちたくないし、誰かがしてくれるのなら」「負担感が大きい」と、なかなか発足に至りません。

しかしサロン水越は、発足から何事もトントン拍子に進みビックリ。みなさんとても積極的で、「このような集まり場を待っていたんだなぁ」と感じました。

小地域サロンは、地域の住民同士で身近な場所で気軽に集う、自主的な活動です。立ち上げのお手伝いやその後のフォローはお任せください！

楽しくおしゃべりをしながら、自分も地域も元気アップ♪あなたの地域でも始めてみませんか？

感謝の伝言板

●庄原に元気を与えたい！

庄原中学校3年生では、総合的な学習の時間でコロナ禍の現状を知り、「**少しでも庄原を元気にできること**」をテーマに作品制作に取り組まれました。各クラスで作られた横断幕やポスター、願いを込めた折り鶴、庄原の良さをまとめた動画などの作品を病院や市役所など市内の施設に寄贈されました。庄原市ふれあいセンターロビーには、3年3組3班の生徒の皆さんが作成した横断幕を掲示しています。お立ち寄りの際には是非ご覧ください。

庄原中学校の皆さん、ありがとうございました。



●皆様からの善意のマスクをお届けしました

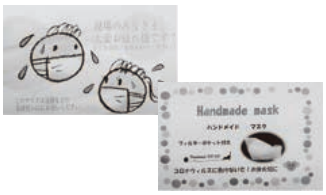
庄原地域センターでは、6月から10月までマスク寄付箱の設置をお知らせしたところ、1800枚もの布マスクや手作りマスクが集まりました。

沢山のご寄付をありがとうございました。

新型コロナウイルスの感染予防に役立てていただくため、NPO法人庄原共同作業所、社会福祉法人庄原さくら学園、一般社団法人サーバント、社会福祉法人翠庄会に300枚ずつ寄贈致しました。

「毎日使うものなので、とても助かります。マスクを届けてくださった皆様に感謝し、大切に使わせていただきます」とお礼の言葉をいただきました。


色とりどりの手作りマスク



「コロナウイルスに負けないで！お体大切に」「現場の皆さま大変お疲れ様です。どうかお体をお大事にしてください」とメッセージ付きのマスクもありました。






オープンしました！ サポートホーム「ひなたぼっこ」

児童や生徒たちと一緒に、心がほっとあったまるような「子どもの居場所づくり」をしていきます。

関心がある方は、地域共生推進課（TEL 0824-75-0345）までご連絡ください。









ご家庭で食べきれない食料品などありませんか？

世界の中でも裕福な国だと思われている日本ですが、子どもの貧困率は７人に１人、ひとり親世帯では半数以上が貧困に苦しんでいるというデータがあります。

その一方で品質に問題がないにもかかわらず、廃棄される食品は年間600万トンを超えています。

フードバンク事業は、今ある食べ物を大切にし、必要な人に届けることで**「もったいない」を「ありがとう」に変える活動です。**

- 会社が倒産して、家賃や水道光熱費などを支払うと、十分な食費を確保できなくなった…
- 再就職するまでに食べるものがなくて…
- 月10万円の生活じゃあ、十分な食料も買えない…

といった状況が庄原にもあります。



フードバンク事業へご協力ください！

平成29年度より自立相談支援事業たんぽぽの取り組みの１つとしてフードバンク事業を始めました。

食料の確保でお困りの方へ食品を提供することで、生活の安定を図ることができます。ご家庭で消費できない食料品などありましたら、ご連絡ください。

- お歳暮・お中元などで余った食材
- 非常食の缶詰などで賞味期限が迫ってきた食料 などで

賞味期限がおおむね２ヶ月以上あるもの



お預かり



庄原市社会福祉協議会

ご提供



食生活にお困りの方

食料の確保でお困りの方へ

フードバンク事業は、自立相談支援事業「たんぽぽ」の取り組みの１つです。
お一人おひとりの状況に合わせた生活の立て直しの総合支援を行なっています。

● 地域共生推進課　TEL 0824-75-0345

秘密は厳守します。お気軽にご相談ください。

よろず相談のご案内

●年齢を重ねるにつれ、色々な手続きの判断が難しくなった…
●家族の介護について気になることがある…　など

1人で悩んでいませんか？
社会福祉協議会は、24時間365日あらゆる相談を受け付けています。

地域共生推進課　(0824)75−0345【受付時間／8:30〜17:30】
●早朝・夜間、緊急時 080−5239−4085

庄原地域センター	0824-72-5151	高野地域センター	0824-86-3044
西城地域センター	0824-82-2953	比和地域センター	0824-85-2300
東城地域センター	08477-2-0488	総領地域センター	0824-88-2796
口和地域センター	0824-89-2320		

専門相談のご案内【いずれも要予約・先着順】

司法書士相談　45分以内

- 日　時：2月17日（水）・3月17日（水）
  13:00〜16:00
- 場　所：庄原市ふれあいセンター
- 相談内容：不動産の名義変更、相続登記・遺言、借金の整理、成年後見、会社の登記、簡易裁判所訴訟代理など

法律相談（弁護士相談）　30分以内

- 日　時：2月19日（金）・3月19日（金）
  12:45〜15:45
- 場　所：庄原市ふれあいセンター
- 相談内容：賃貸に関するトラブル、交通事故、相続、離婚、借金問題、消費者トラブルなど

貸付期間が
3月31日まで延長されています。

生活福祉資金特例貸付のご案内

休業された方へ　緊急小口資金

貸付対象　新型コロナウィルス感染症の影響を受け、休業等により収入の減少があり、緊急かつ一時的な生計維持のための貸付を必要とする世帯

貸付限度額
原則、一世帯につき一回10万円

貸付利子・保証人
無利子・保証人不要

返済据置期間
貸付の日から最長1年

返済期限
据置期間経過後2年以内

失業された方へ　総合支援資金

貸付対象　新型コロナウィルス感染症の影響を受け、収入の減少や失業等により生活に困窮し、日常生活の維持が困難となっている世帯

貸付限度額
単身世帯：月15万円以内
2人以上世帯：月20万円以内

貸付利子・保証人
無利子・保証人不要

返済据置期間
貸付の日から最長1年

返済期限
据置期間経過後10年以内

原則、自立相談支援事業等による支援を受け、継続的な支援を受けることが要件となります。

各貸付には、その他一定の条件があります。まずは、地域共生推進課までご相談ください。

広告
広島弁護士会所属（弁護士登録番号47310）
三浦益隆法律事務所
弁護士　三浦　益隆
業務内容
■ 離婚・相続などのご家庭の問題
■ 債権回収・契約書チェックなどの企業様の法務
■ 交通事故・近隣トラブルなどの事故対応
■ その他法律業務全般・訴訟代理
〒727-0012
広島県庄原市中本町一丁目3−1 渡辺ビル2階
庄原警察署隣　比婆医院様2階
☎0824-74-6310
https://www.miuramitsutaka-law-office.com/

広告
住まいの事なら何でもご相談下さい。
ナガオカ　長岡商事株式会社



住まいの修理、新たなご提案、施工、アフターケアまで地元ならではのフットワークで、皆さまの大切なお住まいをより快適にするお手伝いをしています。
0120−184−268
広島県庄原市是松町5020番地40　TEL0824-72-0561

ありがとうございます

令和3年1月

寄付者紹介

（12月1日～12月31日受付分）

社会福祉事業に寄付をお寄せいただきました。
ここに、ご芳名を報告させていただきますとともに、こころよりお礼申しあげます。
寄付者ご本人の承諾のもと、氏名等を掲載しております。（順不同）

本会への寄付金は、所得税・法人税・県民税・市民税の寄付金控除の対象となります。

※本年度より敬称を省略とさせていただきます。

香典返しにかえて

続柄	故人名	地区	寄付者
【庄原】			
妻	村上ミヨコ	西本町	村上　達彦
母	伊達　壽枝	西本町	伊達　景明
夫	片山　孝昭	川西町	片山由貴枝
母	原田　良子	新庄町	原田　淳司
夫	岡田　正美	一木町	岡田　攝子
兄	前谷　昌行	一木町	前谷　武行
母	増原美貴子	板橋町	増原　一則
父	大掛　清	高門町	大掛　羊三
長男	奥田　典仁	三日市町	奥田　卓美
母	尾長　京子	三日市町	尾長　恵介
夫	加胡川　豪	七塚町	加胡川和代
母	國保イツヱ	本郷町	國保　茂明
母	土井テルミ	本郷町	土井　理良
母	三上　松枝	高茂町	三上　肇
夫	安部　正昭	水越町	安部　早苗
父	重田　博恭	川北町	重田　泉
【西城】			
夫	山本　圭三	大佐	山本　照子
夫	吉岡　和明	大佐	吉岡マツ子
母	花田　初子	大佐	花田　享子
母	瀧廣コサワ	大佐	瀧廣　豊
母	瀬尾　美末	大佐	岡下　清次
父	牧原　廣登	中野	牧原　和志
父	定家　宮市	熊野	定家　康智
母	増永美智枝	大屋	増永　正己
夫	中西　時治	小鳥原	中西ナツヨ
夫	成地　万治	三坂	成地　順子
母	藤原アサエ	広島市中区	藤原　節雄
【東城】			
母	森　花子	東城	森　敏夫
父	渡邉　勇	川東	渡邊　康彦
夫	矢吹　利之	戸宇	矢吹　成枝
父	伊井　實	戸宇	伊井　勝芳
父	瀬尾　肇	内堀	瀬尾　範芳
母	川本　豊子	森	川本　照
【口和】			
父	松川　禎次	永田	松川　恵介
母	古川　悠子	竹地谷	古川　良二
【高野】			
母	山本喜美枝	奥門田	山本　隆博
【比和】			
父	松下　泰一	森脇	松下　隆
妻	安井　露子	木屋原	安井　睦彦
【総領】			
母	熊原　禮子	木屋	熊原　博幸

玉串料返しにかえて

続柄	故人名	地区	寄付者
【庄原】			
父	谷口　英雄	峰田町	谷口雄次郎

見舞い返しにかえて

寄付者住所	氏　名
【庄原】	
新庄町	原田　良子
川北町	重田　博恭
【口和】	
湯木	三吉　龍次
永田	村上　福六
【比和】	
木屋原	安井　睦彦

一　般　寄　付

寄付者住所	氏　名
【庄原】	
宮内町	寺岡　隆行
川北町	重田　泉
	備北地域活動栄養士会
広島市	ダイハツ広島販売（株）
【口和】	
常定	橋川　昭子
	くちわ陶芸クラブ
	あみもの教室

外出支援事業おでかけ応援隊

【庄原】

庄原市総合サービス（株）
（株）和泉光和堂
（有）永宗組
ＮＳウエスト（株）
（有）光永
国際ソロプチミスト庄原
大沢　忠夫
中村　学

【西城】

藤田自動車工業有限会社

【東城】

横山歯科医院

【口和】

竹岡モータース
くちわ自動車
（有）セルダムコーポレーション
（株）岩滝モータース
あんず薬局
（株）高瀬の湯

皆様からの寄付金（香典返し・見舞い返し・一般寄付等）や会員会費を、市内の地域福祉事業に貴重な財源として活用しています。
今後とも、ご支援の程よろしくお願いいたします。（※介護保険事業等収益性のある事業には一切充当しておりません）

Focus On !

みんな知っとる!?

比和

比和町郷土史研究会

過去があって今がある

比和町郷土史研究会は、郷土の発展に寄与することを目的に、自然や民俗の伝承、研究、調査などを行っています。その一環として、比和の歴史・文化や、年中行事・農家のくらしを通した生活の記録などを紹介する会報「**比和の民俗と歴史**」を発行しています。


比和町郷土史研究会の皆さん

会報は平成 12 年に創刊し、現在第 36 号を作成中です。地域の皆さんの協力のもと聞き取りや資料収集を重ね、歴史を掘り起こし、これまで「比和の牛市」や「鑪（たたら）」など、なんと 179 項目にわたり比和の歴史文化を紹介しています。

事務局長の進藤さんは、次のように話されています。

「過去のことは無しにして今を作ることはできない。人もそう。生活してきた歴史が今の暮らしや人を作っている。私たちの活動は続けることに意味があるんです。」

高齢化や資料不足など、題材を遡ることが難しくなってきたことが課題ですが、比和町郷土史研究会の取り組みを続けることにより、たくさんの人が故郷比和をもっと好きになり、未来の地域づくりにつながることを願って活動されています。

【2 月号休刊のお知らせ】

今回 1・2 月新春合併号を発行したため、2 月 20 日に発行を予定しておりました社協だより元気かわら版 2 月号は休刊いたします。

比和のむかしとこれからを大切に思う、比和が大好きな皆さんです。

昨年、比和自治振興区と協力して、「比和の民俗と歴史」総合版を作成されました。比和の人が何を大切にしてきたのか、未来を考えるヒントが詰まった貴重な一冊です。



比和地域センター
地域福祉コーディネーター　周藤 美佳

広告

相続、空き家問題、成年後見等でお困りの方、あなたの世代で解決しませんか？



業務のご案内

●不動産の名義変更　●成年後見
●相続登記・遺言　●会社の登記
●借金の整理　●簡易裁判所訴訟代理等

●詳しくはホームページに記載しています。

庄原　司法書士　検索

司法書士 飯田 一生
（広島司法書士会所属）

広島北部司法事務所
（訴訟代理権認定第524014号）（司法書士登録番号828号）
平成29年4月1日より庄原市役所前に事務所移転しました。
新住所 〒727-0012 広島県庄原市中本町一丁目8番16号 TEL0824-72-2315（要予約）

広告

ゴミでお困りのことなら、なんでもお気軽にご相談ください！

家の片付け・遺品整理・引越し等で、お困りのゴミについてお客様にピッタリのプランをご提案いたします！
見積もり・相談無料！

詳しくはホームページをご覧ください。
http://www.fukuokasangyo.co.jp



有限会社 福岡産業
親切・丁寧・安心を心情に！
一般廃棄物収集運搬業許可　庄環第101号
産業廃棄物収集運搬許可　03418048979号
広島県庄原市宮内町707-1
TEL：0824-73-1102
FAX：0824-73-1103

●発行日：令和3年1月20日　●発行：社会福祉法人 庄原市社会福祉協議会　●庄原市西本町四丁目5番26号
●TEL0824-72-7120　●FAX0824-72-8512　●ホームページ http://shakyoshobara-city.or.jp　●E-mail:info@shakyoshobara-city.or.jp
●印刷：平和印刷株式会社